

令和3年1月5日
健康福祉局

新型コロナウイルス感染症のモニタリング状況

1 モニタリング状況（参考数値）

集計期間：令和2年12月28日（月）～1月3日（日）

	指標	数値	前週	目安基準
(1)	直近1週間の新規陽性者数	541人	508人	—
(2)	直近1週間の人口10万人当たりの累積新規陽性者数 (陽性者数/(153万人/10万人))	35.36人	33.20人	2.5人未満 (※1)
(3)	週当たりの陽性者増加比 (当該週の陽性者数/前週の陽性者数)	1.06	1.25	<1(※2)
(4)	直近1週間の感染経路不明者の割合 (感染経路不明者数/陽性者数)	61%	46%	50%未満 (※3)
(5)	直近1週間の陽性率(※4) (陽性者数/検査実施人数)	22.82%	8.58%	—
(6)	入院中の患者数(※5) (疑似症患者を含む)	140人	111人	感染症患者受入病床 263床
(7)	入院中の患者のうち重症者数(※5) (疑似症患者を含む)	18人	14人	重症病床 30床
(8)	全療養者数(※5)(入院中、宿泊療養及び自宅療養者合計(疑似症患者は含まない))	1195人	1136人	—

これらの数値は、速報値として公表するものです。

※1 神奈川県警戒アラート指標の基準を準用

※2 新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言（新型コロナウイルス感染症対策専門家会議「緊急事態措置の解除の考え方」）より引用

※3 神奈川県の再警戒モニタリング指標の基準を準用
(再警戒基準：新規陽性者数が10人以上の時、50%以上)

※4 健康安全研究所及び民間検査機関による検査実績から算出（本市発表外陽性者も含む）

※5 1月3日(日)現在の報告数（前週分は、12月27日(日)現在の報告数）

2 評価

令和2年12月28日（月）～1月3日（日）の川崎市内におけるモニタリング状況は、(1)新規陽性者数は前週の508人から541人（前々々週304人、前々週405人、前週508人）と前週まで3週連続して100人以上の増加となっていたものが、今週は33人の増加とやや増加が鈍った状況です。その他の指標については、(2)直近1週間

の人口 10 万人あたりの累積新規陽性者数は、前週 33.20 人から今週 35.36 人とやはり増加し、目安基準 2.5 人未満を上回ったままとなっています。(3)週当たりの陽性者増加比は、前々週 1.33 から前週 1.25、今週 1.06 と低下していますが、目安基準である 1 以下を上回ったままとなっています。(4)直近 1 週間の感染経路不明者の割合は、前々週 39%から前週 46%、今週は 61%と再び増加し、目安基準の 50%を上回りました。(5)直近 1 週間の検査陽性率は、前々週 8.72%から前週 8.58%、今週は 22.82%と急な増加となっています。

(6)入院中患者数は前々週 116 人、前週 111 人から、今週は 140 人と増加しています。(7)入院中患者のうち重症者数は、前々週 11 人から前週 14 人、今週 18 人と増加しました。(8)全療養者数(入院中、宿泊療養及び自宅療養者合計)は前々週 692 人から前週 1136 人と急増し、今週は 1195 人と増加が続いています。

(1)全体の新規感染者数、(2)直近 1 週間の人口 10 万人あたりの累積新規陽性者数、(4)直近 1 週間の感染経路不明者の割合は増加しています。(5)直近 1 週間の検査陽性率は、急増しました。(3)週当たりの陽性者増加比はやや減少しています。

(6)入院中の患者数、(7)重症患者数、(8)全療養者数はいずれも増加しています。なお、感染症患者受入病床は、他の病気で入院に使用している病床などを新型コロナウイルス患者病床として利用できる病床ですので、ここが多く使用されると一般医療が縮小せざるを得ない状況となってきます。

川崎市内の感染者の状況は 4 週連続して増加傾向にあり、特に前々週から前週は急増となりましたが、前週から今週にかけて増加傾向は続いているもののやや増加の状況が鈍くなりました。感染者の多くは幸い軽症で、経過観察可能となっていますが、入院中の患者数、重症者数は増加しております。新型コロナウイルスによる入院患者数が増加するとそちらの医療に人手・病床などがとられ、通常の医療・救急医療などにも影響が出てくるので、入院数、殊に中等症・重症の増加を抑える必要があります。そのためには、出来るだけ感染が広がらないようにする必要があり、引き続き一人一人が感染しないように、感染させないように、一層のご注意、ご協力をお願いいたします。

引き続き、三密を避ける、適切な距離が保てないなどの時はマスクをつける、手洗い・手指の消毒をこまめにするなど、日常生活においての基本的な、そして重要な注意を続けられますよう、重ねてお願いいたします。これらの何気ない注意が、感染者数を増やさないことに、大変役に立ちます。また感染を警戒するあまり家の中に閉じこもり切りになる必要はありませんが、どちらかへお出かけになるときには、混雑する場所や時間帯はできるだけ避けて、家族単位などの少人数で、ゆっくりと過ごされるようお願いいたします。

なお、市内 61 か所のインフルエンザ定点から毎週報告を頂いているインフルエンザの発生動向につきましては、第 52 週(12 月 21 日～12 月 27 日)の発生報告はまだ集計が届いておらず、次回に併せてご報告しますが、大きな発生はこれまでのところない様子です。

新年となりましたが、本年は感染者数が少しでも減少し、重症者・中等症者が一人でも少なくなり、日常生活や経済もそれに伴って回復できるよう、ご協力のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。